

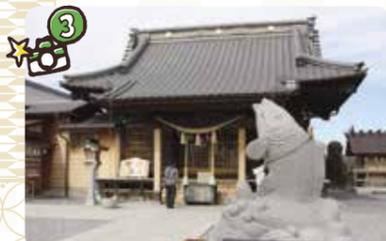
地図上の撮影場所



▲日光街道の現在。道幅は江戸時代から変わっていないという。また、宿場町の風情を感じさせる建物も一部残っている。



▲街道の近くには、当時の商人が敷地内に築いたと思われる水塚の跡が残っている。



▲八坂神社には狛犬ならぬ狛鯉が。境内の建造物や石造物等には鯉と亀をモチーフにした装飾が多い。

篠崎さんに栗橋宿周辺を案内していただきました！

栗橋歴史研究会 会長
久喜市ボランティアガイド 会員
しのぎまき せいじ
篠崎 清司さん

“久喜市の大事な歴史として 知って欲しい”

栗橋宿は利根川の舟運業で栄え、特に来年で設置400年を迎えることされる栗橋関所は、箱根・碓氷と並んで関東三大関所と呼ばれ、江戸の警備拠点として重要な役割を果たしていました。ぜひ皆さんにも、栗橋にとつただけではなく、久喜市全体の大事な歴史の一つとして、栗橋宿について知っていただきたいですね。



▲日光社参の際には数多くの人や馬が動員され、船橋を渡った。「将軍が日光に着いたとき、最後尾はまだ江戸にいた…なんていう話もあります(笑)」

日光街道訪宿記念
ごしゆくばいん
御宿場印 全30カ所 販売中!

日光街道の宿場町等では、各地を訪問した証として“御宿場印”を販売しています。デザインも各宿場町が考案したオリジナルデザインとなっています。江戸時代から続く悠久の歴史に想いを馳せながら、旅の思い出にいかがですか。

栗橋宿の御宿場印の販売
場 八坂神社や街道沿いの店舗 (全7カ所)
費 1枚300円 (御宿場印帳は1冊2,200円)
※詳細は久喜市観光協会ホームページ (トップページの中程) をご覧ください。



▲栗橋宿の御宿場印には、当宿の特徴である房川渡しをモチーフに、八坂神社に伝わる鯉と亀の伝説や静御前が使用した扇子のデザインが施されている。

栗橋宿 周辺 まちめぐり
古きを訪ねて



八坂神社前

八坂神社

栗橋宿の鎮守。慶長年間(1596~1615)の利根川大洪水の際、元栗橋(茨城県五霞町)から神輿が転覆せずに鯉と亀に囲まれて流れ着いたことに人々が神威を感じ、創建されたという伝承をもつ。

「栗橋関所址」碑

関所廃止後、利根川橋の開通で渡し船が廃止されることに伴い建てられた。利根川堤防強化事業により、この場所に仮移転した。

深廣寺

栗橋宿を開いた並木五郎平の墓(市指定文化財)や人々の供養のために建てられた「六角名号塔」(市指定文化財)がある。

顕正寺

栗橋宿を開いた池田鴨之介の墓(市指定文化財)がある。池田家は、代々栗橋宿の本陣(大名や幕府役人が宿泊する宿舎)の役を務めた。

炮烙地蔵

関所破りで火あぶりの刑に処された者を供養するため建立されたと伝えられる。「炮烙」は素焼きの土鍋のこと。

会津見送り 稲荷

江戸へ向かう会津藩士が栗橋付近で出水のため通行できず困っていたが、白髪の老人の道案内で無事江戸へ辿り着いた。老人は後に狐の化身だとわかり、この地に祀ったという。

吉田家水塚

水塚とは、洪水に備えて盛土の上に建てた避難施設のこと。この水塚は栗橋宿で商家を営んだ吉田家の敷地にあったもので、利根川堤防強化事業により現在の場所へ移築・復元された。(公開日:毎週日曜日(年末年始を除く))

栗橋駅

ガイドをご希望の方は

栗橋宿の史跡巡りを始め、久喜市観光ボランティアガイドが市内の自然、歴史、史跡、文化等を無料で紹介しています。詳細は市ホームページをご覧ください。



久喜ブランド推進課観光係 (内線132)